科目名 Subject	特別活動 Special Activities		教員名	木村　康一	
開講年次	1・2	開講時期	通年	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	◎	◎	◎	◎	◎
科目の概要	本学が学生にとって意義や必要性があると判断した、特別講師による講演や授業の他、高齢者施設等へのボランティア活動について随時開講する。学内行事についても特別活動の一環である。 行事に参加することによって、大学生としてのマナーや協調性、自主性などを身につける。資格取得のための実力を向上させる。				
授業の目標	平常の授業とは異なる講座、課外活動等によって、見識を広める。 高齢者施設等へのボランティア活動により実践的な美齢学の知識を養う。 教育目標でもある、自ら考え、行動できるようになる。振り返る力を発揮することが出来るようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	授業の性質上、時間内学習と時間外学習との区別は難しいが、講演や課外活動に対するレポート作成には合計で30時間ほど必用である。 キャリア支援センター主催のイベント（業界研究、個別面談）などの参加。夏季課題、春季課題など。				
教科書・教材	教科書	PROG（社会人基礎力測定検査）受検結果、他関連資料、教材を適宜配布。			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	必要に応じて提示します。			
評価方法	受講態度で評価する。課題やレポート提出。 内容により、レポートや提出物がある。全ての内容を勘案して評価する。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	学内イベント等への積極的な参加が必要です。 グループワークを中心に行います。積極的な参加、発言が必須です。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	※学校行事について ①すべて出席をもって評価対象とする。	ホスピタリティ及びコミュニケーション力等の社会人基礎力を身につけることが出来る。	
第２回	社会人デビューに向けての準備を行います。短大生としての主体的な学び方、姿勢を通して、社会人基礎力を高めます。 具体的には、グループワークを中心に行い ・主体的に考える、発信する ・自分の軸を持つ、違いを受け入れる ・情報を集める、まとめる ・積極的に関わる、成功体験を積む など社会で求められる力を身につけていきます。	自分を知る、他者との違いを知る、社会を知る、仕事を知ることで、グループワークや課題を通して、自己理解（自分の特徴や成長課題）が進み、自分に自信が持つことできる。 全員が成功体験を積んだり、一生懸命取り組むことで、就職活動時に自信を持って自己PRができるようになる。	
第３回			
第４回			
第５回			
第６回			
第７回			
第８回			
第９回	※特別講師による講演、授業について ①すべて出席をもって評価対象とする。 ②課題・レポート等課された場合提出物も評価対象とする。	普段の授業では得られない知識経験を得て、社会人基礎力を身につけることが出来る。	
第１０回			
第１１回	※ボランティア活動について ①都道府県、もしくは市区町村から提供されている活動に参加すること。 ②必ず年1回以上参加すること。 ③参加に関しては各個人で申請すること。ただし、通常授業を避け、時間割で空いている時間帯にするか、夏季、冬季、春季休業期間中、土日祝祭日を利用すること。 ④活動終了後は、ボランティア活動報告書にサイン等をもらってゼミ担当へ提出すること。	ホスピタリティ及びコミュニケーション力等の社会人基礎力を身につけることが出来る。	
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			